

後継者支援について

令和5年7月
中小企業庁 財務課

事業承継・引継ぎ（M&A）に関する支援策一覧

引継ぎの準備

円滑な引継ぎ

引継ぎ後の経営革新等

○気づきの提供

事業承継診断

事業承継診断ネットワークにより、事業承継・引継ぎの課題を発掘、支援

○事業承継の相談／M&Aのマッチング

事業承継・引継ぎ支援センター

各都道府県の事業承継・引継ぎ支援センターで、事業承継の相談、M&Aに係るマッチング支援等を実施。

○事業承継時の相続税・贈与税の実質負担ゼロ

事業承継税制（法人版、個人版）

事業承継時の相続税・贈与税を実質負担ゼロに

○M&A時の費用負担軽減

事業承継・引継ぎ補助金（専門家活用）

M&A時の専門家活用を支援（仲介手数料、DD費用等）

○M&A後のリスクへの備え

経営資源集約化税制①（準備金）

M&A後のリスクに備えるため、据置5年の準備金を措置
M&A実施時に、投資額の70%以下の金額を損金算入

○M&A後の設備投資等

事業承継・引継ぎ補助金（設備投資、販路開拓等）

事業承継やM&A後の設備投資や販路開拓等を支援

経営資源集約化税制②（設備投資）

M&Aに係る投資額の10%を税額控除 又は 即時償却

（凡例）

-  事業承継とM&Aの両方に適用
-  事業承継のみに適用
-  M&Aのみに適用

○円滑な事業承継やM&Aを進めるための指針

事業承継ガイドライン

中小企業における円滑な事業承継やM&Aのために必要な取組、活用すべきツール、注意すべきポイント等を紹介

中小M&Aガイドライン

契約書のひな形、手数料の判断基準、M&A支援機関の行動指針等を提示

中小PMIガイドライン

譲受側がM&A後の統合作業（PMI）の取組を適切に進めるための「型」等を提示

M&A支援機関の登録制度

「事業承継・引継ぎ補助金」による補助対象を、登録支援機関による支援に限定

「アトツギ甲子園」概要

- 令和2年度より開始した、中小企業の後継者を対象に、既存の経営資源等を活かした新規事業のビジネスプランを競うピッチイベント。
- 令和4年度（第3回大会）は総勢192名（前回138名）のエントリー者のうち、書類審査の上、地方大会（第3回大会新設）を3ブロックで実施（西、中、東日本）。各ブロック上位5名の計15名がファイナリストとして決勝大会に進出。
- ファイナリスト等はメディアへの露出も多く、現経営者をはじめとする社内外における既存の経営資源を活かした新規事業への理解向上にもつながっている。アトツギ甲子園エントリーや出場が、現経営者との承継に向けた踏み込んだ話し合いや事業化に向けた具体的な調整が進むきっかけに。



第3回大会エントリー者状況

- 東日本ブロック
関東、東北、北海道（18都道県：57人）
- 中日本ブロック
近畿、中部（12府県：69人）
- 西日本ブロック
沖縄、九州、四国、中国（17県：66人）

最優秀賞者や優秀者等への特典

- ✓ 最優秀賞には中小企業庁長官賞授与。
- ✓ 公式サイトの特設ページでの紹介の他、複数のメディアにも掲載。
- ✓ 補助事業における優遇措置等

▶ 対象者：ファイナリストおよび準ファイナリスト（※1）

○小規模事業者持続化補助金の後継者支援枠（特別枠）

（上限200万円補助・補助率2/3）の申し込みが可能
（インボイス転換事業者の場合、補助上限50万円引上げ）

▶ 対象者：ピッチ大会出場者（地方大会も含む）

○事業再構築補助金、ものづくり補助金、事業承継・引継ぎ補助金、成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）における優遇措置

※1：準ファイナリストとは、地方大会出場者のうち、ファイナリスト以外であって、特に優秀と認められ、経済産業省HPにて公表された者。

(参考) 第3回「アトツギ甲子園」優秀者 (一部抜粋)

○最優秀賞 (中小企業長官賞)

大分県 株式会社グリーンエルム 西野 文貴

(アーカイブ配信 : 1 : 52 : 28~)

<発表概要>

苗木生産会社の家業と自身の林業博士号を組み合わせ、森づくりコンサル業を開始。

具体的には、CSR市場と森づくりを繋ぎ合わせ、人と自然の距離を縮める新しいビジネスモデルを提案。



○優秀賞

岡山県 株式会社マクライフ 牛垣 希彩

(アーカイブ配信 : 26 : 13~)

<発表概要>

吊るす天井ではなく、テント等に使われるような柔らかい膜材を天井に張って安全な天井を整備する。

自身の百貨店業務経験を活かし、販売を拡大。膜材で業界の枠を飛び越えていく。



○優秀賞

東京都 テクノツール株式会社 島田 真太郎

(アーカイブ配信 : 2 : 27 : 53~)

<発表概要>

家業の、重度肢体不自由者の働けるように、ツール開発・提供してきたところから、就労支援サービスを新たに展開。

ツールやノウハウ等を企業に提供していく。どんな体の状態でも暮らしやすい社会、働きやすい会社を目指す。



第3回「アトツギ甲子園」決勝大会YouTubeアーカイブ配信

<https://www.youtube.com/watch?v=2UcOrXYI12A>



第4回「アトツギ甲子園」スケジュール並びにピッチ出場者メリット

スケジュール



アトツギ甲子園ピッチ出場者メリット (宣伝効果例等)

- メディアへの露出度も大きく、事業の推進に効果大。地方大会出場の記事になることも。
- また、知名度上昇による発表事業の売り上げ高増や取引先拡大、発表事業以外の事業拡大。さらに、知事表敬、地元商工会議所での凱旋プレゼン等。また、発表時構想段階の事業が見事事業化につながった例も。

後継者に対する主な支援措置

補助事業における優遇措置

- 各種補助事業において、後継者を対象とした特別枠や審査時の加点措置等の優遇措置を実施。

(参考) 優遇措置を講じている事業の例

○対象：アトツギ甲子園のファイナリスト及び準ファイナリスト

【後継者支援枠（特別枠）】

- ・小規模事業者持続化補助金

○対象：アトツギ甲子園出場者（地方大会出場者も含む）

【加点措置】

- ・成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech）
- ・ものづくり補助金
- ・事業再構築補助金
- ・事業承継・引継ぎ補助金

※準ファイナリストとは、地方大会出場者のうち、ファイナリスト以外であって、特に優秀と認められ、経済産業省HPにて公表された者。

先輩経営者等による伴走支援

- アトツギ甲子園の書類審査を通過した地方大会出場者に対し、メンタリング（事業計画の策定支援やプレゼンスキルのサポート）の実施。
- 地方大会を勝ち進んだファイナリストに対し、先輩経営者等による事業計画の磨き上げを実施。
- 決勝大会で優秀な成績を収めた者に対し、事業の本格展開・拡大に向けて、経営指導も行う。

ブランド力向上 (ロゴマーク配布（予定）)

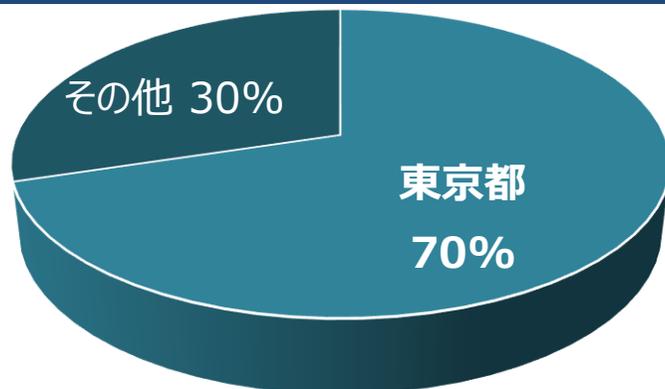
- 支援機関及びアトツギ甲子園出場者のみが使えるロゴマークを整備。利用を希望する者からの利用申請を受けて許可。



地域における後継者支援の必要性

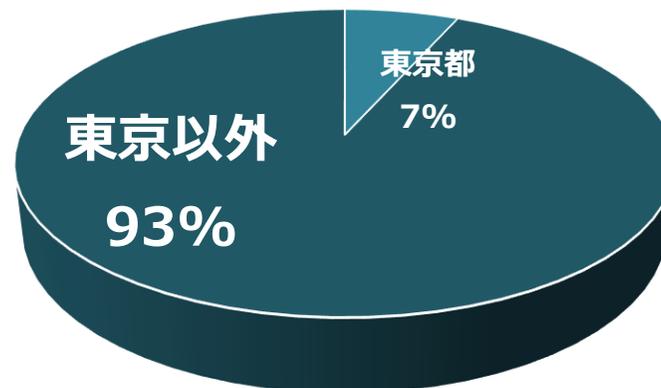
- 後継者は、挑戦意欲や成長志向が高い若手の次期経営者として、既存事業や会社のリソースを活かして新規事業や事業再構築に挑戦する傾向がある。中小企業の中長期的な成長のためには、次世代の経営者である後継者への支援が重要である。
- また、IPO等の高い成長を目指す中小・スタートアップの企業は、概ね都市圏（東京等）に集中する傾向。加えて、地方においてスタートアップを目指すのは容易ではなく、スタートアップ支援の限界を感じている自治体も少なくない。イノベーションを起こす担い手は起業家だけでなく、家業持ちも含まれる。地域経済の新陳代謝の観点からも、地場に根ざした中小企業の後継者が行う新規事業・事業再構築に注目が集まっている。
- 現に「アツギ甲子園」ファイナリストは東京以外に所在している企業がほとんどであり、地域経済を支える中小企業の後継者に期待が寄せられている。
- 以上のことから、早期の事業承継の実現の観点、さらには地域経済の担い手の育成の観点からも後継者支援の取組を強化する必要がある。

J-Startup選定企業の所在地別構成比



【資料】経産省調べ（2023年5月時点）

第3回「アツギ甲子園」ファイナリストの会社所在地

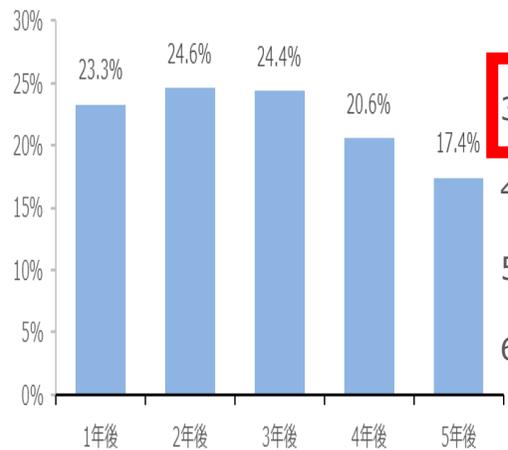


【資料】経産省調べ（2023年3月時点）

中小企業の経営革新の必要性（事業承継の必要性）

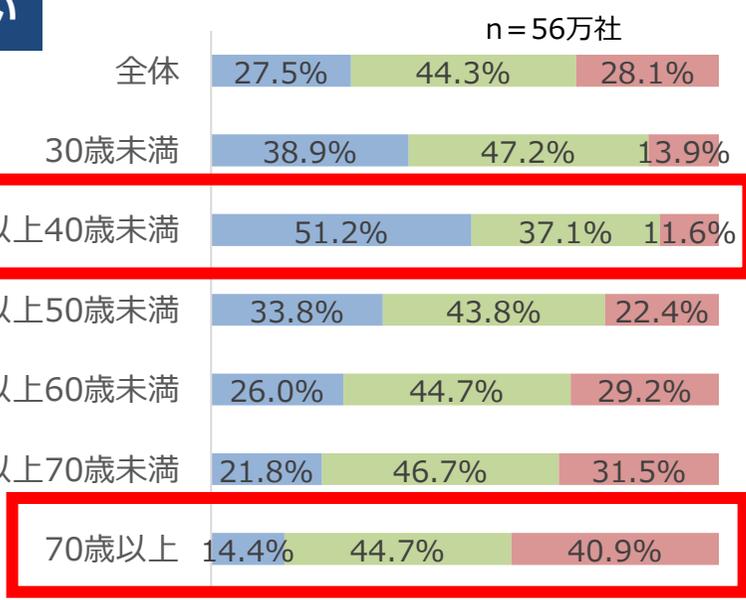
- ポストコロナ・ウィズコロナの経済社会の変化やDX, GXといった社会的要請から事業再構築、経営革新が求められており、事業承継は経営革新の一つの契機ともされている。
- 経営者年齢が若い企業ほど新たな取組に果敢にチャレンジしやすい企業の風土があるとされ、早期の事業承継が中小企業の成長を後押しする。
- ただ、新型コロナウイルス感染症の影響により中小企業は、承継時期を後ろ倒しにする傾向がある。また、団塊の世代全員が75歳以上になる2025年が迫る中、経営者の高齢化が進んでおり、地域の雇用を守る、経営資源散逸を防ぐためにも早期の事業承継を促す取組が必要。

事業承継後の企業の成長率は承継がない企業と比べて2割程度高い



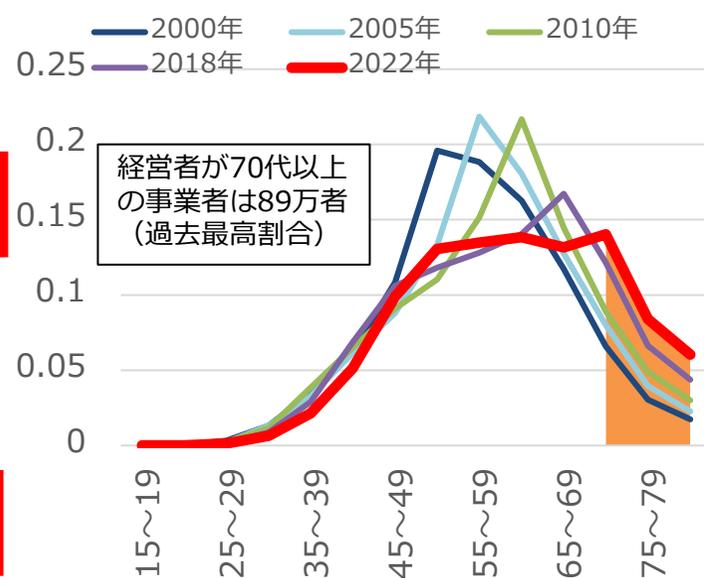
【資料】中小企業庁「中小企業白書」
 (2021版、(株)東京商工リサーチ「企業情報ファイル」再編加工)
 (注) 010年～2015年に経営者交代を1回行っており、経営者交代からその後5年間の売上高、当期純利益、従業員数の数値が観測できる企業を分析対象としている。

経営者年齢層毎の売上高の変化



■ 増加 ■ 横ばい ■ 減少

経営者年齢の変化



(注) 「2022年」については、2022年11月時点のデータを集計している。

【資料】中小企業白書(2023)より
 (株)帝国データバンク「企業概要ファイル」再編加工

(参考) 各地域の取組例 (自治体・金融機関)

大阪府 大阪信用金庫

家業の経営資源を活用した新規事業を考え発表



京都府宇治市

講義 & HRでフィードバック



兵庫県 みなと銀行

23年度よりアトツギ支援へ



北海道 空知信用金庫

北海道経済産業局と一緒にアトツギMTG



福岡県庁

家業後継者が新商品事業化、テストマーケティング等まで一貫して支援



鹿児島県鹿児島市

アトツギ交流会



大分県庁

新事業開発、伴走支援



アトツギ支援コンソーシアム

- 本年7月20日（中小企業の日）に合わせて、中小企業庁主催の下、様々な後継者支援機関等が一堂に会し、後継者支援に関するコンソーシアム（アトツギ支援コンソーシアム）を組成しイベントを開催。後継者支援のベストプラクティスを共有。以後、毎年フォローアップ会議を開催し、支援事例の共有などを図る。

【アトツギ支援コンソーシアム】

後継者支援
推進シンポジウム



年1回フォローアップを開催
(支援事例の共有)

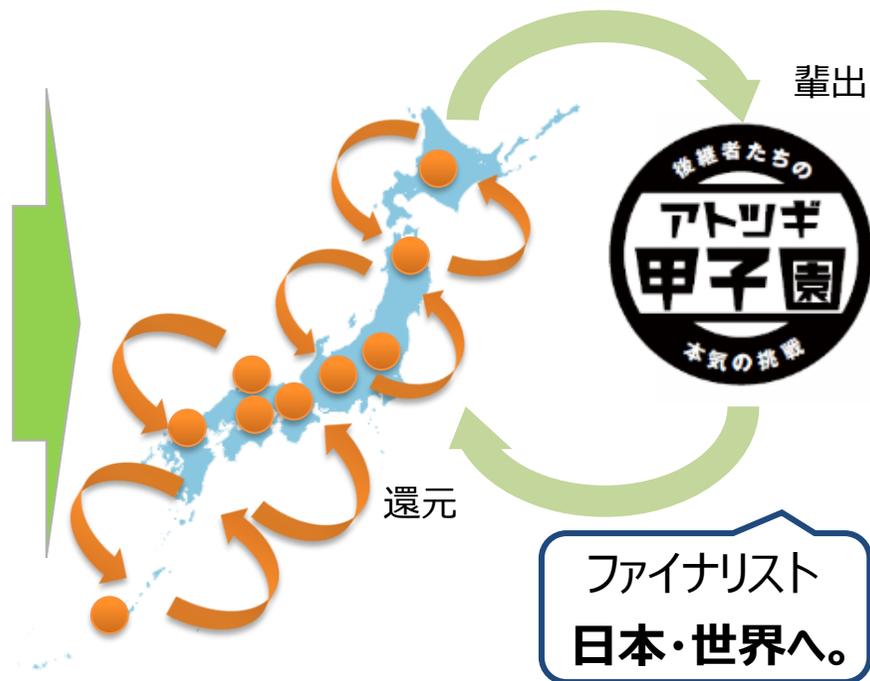
各地域において、支援機関が支援事例を共有し、
後継者に還元。「アトツギ甲子園」に向けて伴走。

アトツギ支援コミュニティ団体

アトツギ
ファースト



家業
エイド



アトツギ be ambitious ! 事業 (地域におけるアトツギ支援の拡大)

- 「アトツギ甲子園」の更なる拡大と地域における後継者支援の裾野を拡大するために、地域の支援機関等とともにアトツギを磨き上げる事業を実施する。本事業を通して、関係者・関係機関を巻き込んだ地域における後継者支援のエコシステムの構築を図る。

<内容>

<スケジュール案>

事業者の募集

後継者支援エコシステム構築に向けたモデルケース輩出のために、伴走支援プログラム「アトツギ be ambitious !」を実施する民間事業者、自治体、金融機関等を対象に5社程度募集。

7月20日～8月17日

プログラム参加者の募集

事業者はプログラム参加者を1プログラムごとに10名程度募集、さらにそこからアトツギ甲子園へのピッチ登壇者を3～5名程度送り出せるようにサポート。

9月 (予定)

プログラムの実施

プログラム参加者へ約2ヶ月間の集中支援プログラムを提供。採択事業者とともにアトツギ甲子園出場に向けてリアル&オンラインでサポート。

- ① アイデア創出ワークショップの開催 (オンライン) : 10月
- ② コミュニティイベントの開催 (リアル/オンライン) : 10月～12月
- ③ エントリーシート作成のための個別支援 (オンライン) : 随時
- ④ 他のプログラム参加者同士の交流会 (オンライン) : 随時

10月～12月 (予定)

(参考)
**アトツギ支援民間コミュニティ団体
について**

「めぐり会い」で 家業を再発明する



家業イノベーションラボ
FAMILY BUSINESS INNOVATION LAB.



「家業らしさ」であふれたら、日本はもっとおもしろくなる。

VALUE

伝統と革新

私たちは、家業の伝統を守りつつ、時代に合わせた自分らしいイノベーションの実現を目指します

ローカルとグローバル

私たちは、家業が地域の文化・伝統・歴史を担う重要な存在であると認識し、世界へ発信していきます

挑戦と伴走

私たちは、家業のイノベーションに向けて果敢に挑戦し、挑戦する仲間に伴走します

学び、繋がり、挑戦する機会を生み出す。

家業イノベーション・ラボは、家業を持ち、その家業を成長させるためにイノベーションを起こそうとする次世代の挑戦者を応援する活動です。

家業の伝統を守りつつ、時代に合わせた自分らしいイノベーションを実現する伴走支援を行います。



01



学ぶ

02



繋がる

03



挑戦する

家業エイド

無料で登録はこちら 

"自分らしく家業とつながる世界"を目指す、
家業を想う人たちによる相互扶助プラットフォーム。

日本全国47都道府県から約 10,000人の家業に関わる人たちがあつまるオンライン掲示板や独自のSNSを展開。家業を想う全ての人が自分の価値観やライフスタイル/ライフステージに合った、家業との柔軟な関わり方ができる世界の実現を目指す。



家業の"やおよろず"によりそう3つのサービス

独自SNS「えんがわ」

身の回りで起きた日常のささいなことをぼそっとつぶやいてみるもよし、だまーって眺めているもよし。だれかの日常が安心をくれる、発見をくれる、いつでもふらっと気軽に立ち寄れる、そんな縁側のような場所。



コミュニティサイト

家業のはなし。キャリアのはなし。親子のはなし。お金のはなし。人生のはなし。ひとりで悩んでいたことを同じ境遇の仲間や先を歩く先輩と対話したり、多様な視点を得たりできる、良き仲間と出会える場所。



伴走支援型 コンシェルジュサービス

事業としての家業、個人としての自分。「家業」にまつわる課題は多面的。挑戦を支えてくれるサポーターたちと、複雑に絡み合う糸を解きほぐしながら、家業の未来を創り出していく場所。



一般社団法人 2代目お坊っちゃん社長の会

後継者の成長を 伴走サポート

月1度のオンライン定例会

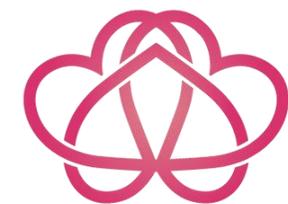
『継・守・破・離』実践の徹底
大手企業、大学との連携事業



一般社団法人
2代目お坊っちゃん社長の会



「共に育つ」
次世代の女性社長を応援する
女性後継者コミュニティ



跡取り娘.com



(一社) 日本跡取り娘共育協会

一般社団法人ベンチャー型事業承継

設立

2018年6月

事業内容

中小企業の承継者を対象にした事業開発支援
ベンチャー型事業承継事例の発信
ベンチャー型事業事業の研究・分析及び政策提言

アツギ ファースト



代表理事

山野 千枝 (株式会社千年治商店 代表取締役)

理事

中山 亮太郎 (株式会社マクアケ 代表取締役社長)

山田 岳人 (株式会社大都 代表取締役社長)

顧問

山根 太郎 (株式会社サンワカンパニー 代表取締役社長)

佐々木 大輔 (free株式会社 代表取締役CEO)

財前 英司 (関西大学 梅田キャンパス スタートアップ支援マネージャー)

入山 章栄 (早稲田大学ビジネススクール 教授)

山井 太 (株式会社スノーピーク 代表取締役会長)

藤野 英人 (レオス・キャピタルワークス株式会社
代表取締役会長兼社長・最高投資責任者(CIO))

菊川 人吾 (経済産業省 経済産業局 審議官)

拠点

・東京／関西 (大阪) ／九州 (福岡)

協賛・協業パートナー (敬称略、順不同)

・野村證券／エヌエヌ生命／大同生命／大阪信用金庫／りそな銀行
東京海上日動／EY新日本／福岡ひびき信用金庫／Makuake

自社事業

- ・アツギファースト (アツギ限定 学びのオンラインプラットフォーム)
- ・アツギベンチャーサミット (アツギのための全員参加型カンファレンス)
- ・A1000 (アツギ経営者による政策提言サミット)
- ・アツギブートキャンプ (短期集中型プログラム) など

主な受託事業

- ・アツギ甲子園 (中小企業庁／第1回～4回)
- ・GUSH! (大分県)
- ・HOJO (兵庫県)
- ・SENJIN (みなと銀行)
- ・ISSIN (福岡県)
- ・K-Ten (鹿児島市)

などその他全国各地で実施



GUSH!

SENJIN

HOJO